

※各論編・事例4を参考に作成(85歳女性、在宅医療)

FAX:三豊総合病院薬剤部 XXX-XX-XXXX

保険薬局 → 薬剤部 → 処方医師

三豊総合病院 御中

報告日 ____年__月__日

別添8

介入状況報告書(薬剤管理サマリー返書)

診療科	■■科	保険薬局 名称・所在地 ■■薬局〇〇店 ××市〇〇町 2-1-12			
医師名	〇〇先生御侍史				
院内担当薬剤師					
患者ID	XX-XXXX-X	電話番号	XXX-XXX-XXXX	FAX番号	XXX-XXX-XXXX
患者名	△△ △△	担当薬剤師	●● 印		
入院日	退院日	この情報を伝えることに対して患者様の同意を ☒ 得た ☐ 得ていない			
XX/XX	XX/XX	☐ 患者様は医師への報告を拒否していますが、治療上重要だと考えられるので報告します。			

退院時に情報提供が必要と判断した患者様です。細やかなフォローアップをお願い致します。

【管理者、調剤形態、生活環境に変更がありましたら、お知らせください。】 ☐ 変更なし ☒ 変更あり (腰痛のため、外出ができなくなった)	
◆ 退院時の定期内服数 7 剤 現在の定期内服数 2 剤 (頓服・貼付剤・服用日数4週未満は除く)	
【退院後から現在の服用状況について確認をお願い致します。(複数選択可)】 ☐ 薬の飲み忘れがあった ☒ 薬の使用方法に関して気に留めていない ☐ 具合の良いときに、薬を休んでしまった ☐ 薬を飲んで具合が悪くなり、服用をやめてしまった ☐ 問題なし	
【評価・対応】 ☐ 副作用モニタリング ☐ 処方変更に伴う薬学的評価 ☐ 薬剤投与方法 ☐ フレイル・低栄養 ☐ 生活環境 ☐ 飲み忘れ ☐ 残薬 ☐ 残数ばらつき ☐ 自己調整 ☐ 身体機能の低下 ☐ 認知機能の低下 ☐ 薬への不安 ☐ 生活習慣 ☐ ポリファーマシー 上記項目について、以下の様に 評価・対応 しました。 ☐ 問題なし ☐ 問題あり ☒ 追加対応 (食欲低下があり、グリメピリド及びドネペジル等を中止しています)	
【身体所見】可能な範囲で記入をお願いします。 体重 __kg 血圧100-110/50-60mmHG 脈拍 __/分	
【報告および提案事項】 薬は90歳の夫が管理していましたが、本人が腰痛のため外出できなくなっても外来時の処方薬を長期継続されていました。定期的な通院することが困難になったため、かかりつけ医が訪問診療を開始し、食欲が低下していること、低血糖状態を生じていることが明らかとなり、グリメピリド及び食欲を低下させる恐れのあるドネペジルを中止しています。また、血圧も100-110/50-60mmHg程度に低下したため、アムロジピンを中止。慢性腎臓病を有していることから、高マグネシウム血症を起こしやすいため、酸化マグネシウムを中止し、便秘が続くときにセンノシドを頓用することとしています。夕食後からうとうとして就寝前にプロチゾラムを飲み忘れることが多いことも判明したため、プロチゾラムも中止しています。	

退院後の定期服用内服数を記載

退院後の服薬アドヒアランスを確認

退院時に注意喚起を行った事項(ポリファーマシー対策等)の評価と対応を記載

各種評価や対策に基づいた処方提案内容等を記載

- ☐ 患者の問題点は解決しましたので、介入・報告を終了します。
☒ 患者の問題点に対し、今後も引き続き介入・報告をしていきます。